

平成17年度施工 島根県優良建設工事知事表彰

部 門	工 事 名	施工業者	主任技術者
道 路	多伎江南出雲線 下古志工区 地方道路交付金（改良）工事	大 和 建 設 (株)	中 島 毅
河 川	苅藻谷川 河川緊急整備工事	(有) 山 下 組	角 隆 二
都 市 計 画	今市川跡線 3工区 緊急地方道路（街路）事業 電線共同溝整備工事（その2）	大 福 工 業 (株)	山 根 修

平成17年度施工 優良建設工事表彰 ◇ 所 長 表 彰 ◇

【出雲県土整備事務所】

部 門	工 事 名	施工業者	主任技術者
道 路	出雲インター線 浅柄工区 新世紀道路（改良）工事	出 雲 土 建 (株)	片 寄 宏 昭
	国道431号 東林木バイパス改築（改良）工事 第5期	大 福 工 業 (株)	荒 川 定 男
	外園高松線 高松工区 地方道路交付金（改良）工事	(株)トガノ建設	岡 田 直 行
	鱈淵寺線 別所工区 地方道路交付金（災害防除）工事（第2期）	(有) 山 根 建 設	荒 木 隆 司
河 川	新内藤川 床上浸水対策特別緊急工事 第6工区（矢野上橋下部工・工事用迂回路）	(株) 中 筋 組	川 上 真 司

河 川	平田船川 広域基幹河川改修工事 なめら橋下部工	昭 和 開 発 工 業 (株)	原 敏 行
港 湾	河下港 港湾改修（第1期）工事	(株) 中 筋 組	吉 田 真
都 市 計 画	今市川跡線 3工区 緊急地方道路（街路）事業 電線共同溝整備工事	大 福 工 業 (株)	石 橋 茂 吉
農 業 土 木	平成16年度 かんがい排水事業（一般型） 稗原ダム附帯工事	(有) 森 山 組	福 田 佳 広
	平成16年度（緑越）経営体育成基盤整備事業 阿宮地区 区画整理（6）工事	ヒカワ工業(株)	角 嘉 夫
森 林 土 木	平成17年度 林地荒廃防止事業（真名井）工事	(株) 中 筋 組	昌 子 真 一
	平成17年度 地すべり防止事業（山谷その1）工事	出雲グリーン(株)	遠 藤 篤 志

平成17年度施工 優良建設工事表彰 ◇ 主任技術者表彰 ◇

部 門	工 事 名	施工業者	主任技術者
道 路	湖陵掛合線 宮内工区 新世紀道路（改良）工事	今 岡 工 業 (株)	藤 原 敏 彦
河 川	平田船川 床上浸水対策特別緊急工事 横撫橋下流護岸工	昭 和 開 発 工 業 (株)	坂 本 正 城
森 林 土 木	平成16年度 林道開設事業（森林管理道） 宮本聖谷線 第1工区工事	(株) 安 井 組	高 野 輝 久



島根県優良建設工事知事表彰を受賞して

大福工業(株)
今市川跡線 3工区
緊急地方道路(街路)事業
電線共同溝整備工事(その2)
主任技術者 山根 修

この度、平成17年度今市川跡線(3工区)緊急地方道路(街路)事業電線共同溝整備工事(その2)に於いて、優良建設工事知事表彰を頂き、大変光栄に思っております。

振り返りますと、18ヶ月の長きに亘ったこの工事の様々な出来事が脳裏を過ぎり、感無量の思いであります。

さて、本工事は、今市川跡線の4車線化計画に伴い、当該区間を斜めに貫く大津雨水幹線水路の函渠部を大型のプレキャストボックスカルバート(内空断面w4,400×h1,800×L1,500)により改築するものでした。工事を進めていく上で問題となったのは、ボックスカルバートの基礎構造が置換工法であり、これにより仮設締切矢板が長大になることでした。当該施工区域には店舗、民家が近接しており、また、地下水位が高く、地盤が軟弱な為、締切矢板の打ち抜きによる周辺家屋への影響が懸念されたのです。この為、発注者と協議を行い、基礎地盤の改良を置換工法からスラリー攪拌工法(柱状改良φ3,000×φ1,000)に変更することにより矢板長を短くし、矢板の打ち抜きを電動バイプロ打ち抜き方式から油圧圧入引き抜き方式へ変更することにより振動・騒音を最小限に抑え、工事施工開始から完了に至るまで周辺家屋への影響を防ぐ事が出来ました。

今回の工事のような市街地での施工は、近隣住民の方々の御理解・御協力無くしては到底完成する事は出来ません。普段からこまめに足を運び、コミュニケーションを取り、真摯に対応する事が重要だと考えます。

最後に、今回の受賞にあたり、この工事で御世話になった近隣住民の皆様、御指導を賜った発注者・関係官庁の皆様、工事を支えて頂いた協力会社・元方職員の皆様に対し深く敬意を表すると共に、感謝申し上げます。

ありがとうございました。



島根県優良建設工事知事表彰を受賞して

大和建設(株)
多伎江南出雲線 下古志工区
地方道路交付金(改良)工事
現場代理人 杠 直門
主任技術者 中島 毅

今回、優良建設工事知事表彰を頂き、大変光栄に思っております。表彰をいただくことができたのは、発注者、現場スタッフ、協力業者、地元の方々の協力と努力があってこそであり、感謝いたしております。

さて、今回この工事を施工するにあたり、会社の工事評価点向上の目標に基づき、作業所でも工事評価点の80点以上を目標として設定しました。現場代理人を中心として、若き現場スタッフが熱意をもって日々目標の達成を目指し取り組みを重ねてまいりました。また今回工事で84点という好成績をおさめられた背景には、現場スタッフの熱意が伝わったことはもとより、入念な打合せ、常に1ヶ月2ヶ月先を考えた工程管理に尽きるのではないかと考えています。そして現場スタッフの考えの一つに「断固たる決意」があります。工事が始まったときには「ああしよう、こうしよう」と、想像ばかりが膨らんでしまいます。工事が進むにつれてうまくいくこともあれば、うまくいかないことも多々あります。そのうまくいかない時、投げ出してしまうことは簡単ですがその時、自分をどう保つかで自分の真価が問われるのではないかと思います。大和建設はそういう気持ちを持ったスタッフだったからこそ、発注者、協力業者、地元関係者の方々と気持ちが一つになれたと自信を持って言えます。一つになったみんなの気持ちが好成績につながったと確信しています。

また、この工事では現道の切り回しを何度となく行いました。仮設道路は、経費削減で路盤の上に乳剤を散布し、舗装をせずに解放しました。かなりの交通量の上、天候不順で道路が傷み通行車両、歩行者の方々には、大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

最後に、多伎江南出雲線が古志橋と西出雲インターチェンジとを結ぶ幹線道路として早期に完成し、地域活性化のかけ橋となるよう期待しています。今後もこの受賞を励みにより一層の努力をして頑張っていきたいと思っております。



“年男”の抱負 亥年



内藤建設工業(株)
平井 昇



あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、2007年亥年年男として、また40年間建設業に携わってきた一人として、私が常日頃思っていることを話させていただきます。

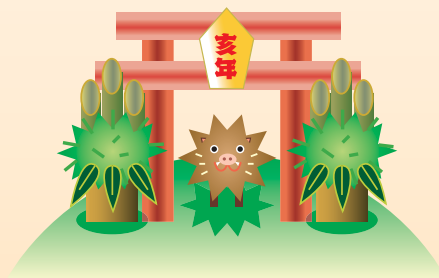
人間が地球上に生まれてまず思ったことは、「腹が減ったから何か食べたい、寒いから何か身に着けたい、雨が降るから屋根の下に入りたい」この三つではないでしょうか。以来人間は衣食住のために必要なものすべてを地球から手に入れ、消費してきました。

地球の温暖化・酸性雨・森林破壊・砂漠化・海河川の汚れ・動植物の絶滅など環境破壊はすべて、衣食住を得ることによって地球の恵みを受けてきた人間が引き起こしたことです。

私たちが行っている建設業も、人間が安全、豊かさ、利便性を追求・実現しようと時代を前へ前へと進ませてきた結果、地球に大きな負担を与えてきました。

今、私たち建設業者は建設投資が減少しつつあるという厳しい状況の中で、矛盾する考え方だとは思いますが、人間と限りある地球との関係を見つめ直し、世の中が発展することがすべてではないという考え方があっても良いではないでしょうか。今まで以上に、限りある地球に優しく接し、省資源化、リサイクル化をより一層進めていくべきだと思います。

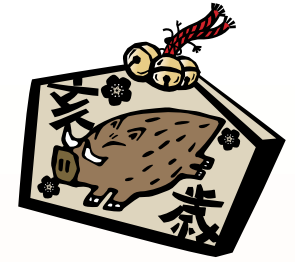
今年一年が皆様にとりましてすばらしい年でありますように。



“年男”の抱負



株広島組
広戸 修



平成19年 新年のお祝いを申し上げます。皆様には健やかな新年をお迎えのことと存じます。私もこの世に生を受けて48年目となり、4回目の年男を迎えることとなりました。そしてこの業種に携って25年、四半世紀の歴史を積み重ねて参りました。

さて、昨年、平成18年を締めくくる言葉として「命」という字が選ばれました。命という尊いものを、そして一番大切にしなければならないものを、一年を振り返って改めて言葉にし回想して悔い改めなければならないという、なんともずさんだ一年でした。

話は元に戻りますが、私が生まれたのが昭和34年。歴史的に言えば、今上天皇のご成婚の年、また昨年映画になった東京タワーが完成した次の年で、喜ばしい事や向上的な事があった年代であります。その東京タワーを背景にした映画「ALWAYS 三丁目の夕日」が一昨年初映されましたが、東京のこととはいえ大変懐かしさを感じさせられました。見覚えのあるオート三輪、ズボンにヒザ当てをした元気のいい小学生。5円玉、10円玉の価値の高さ。力道山を見た記憶はありませんが、白黒のプロレスを8チャンネル?で見た覚えがあります。

私が小学生の頃、通学路は砂利道で雨の日には水溜りが出来て、時々通る自動車ははねる水を傘で防いだものですが、今はほとんど舗装になり、めったに長靴をはかなくなりました。河川も年々整備され「田舎＝地方」においても住み良い環境になりつつあります。そんな中、昨年は「地方切り捨て」という言葉をよく聞きました。「都会人にあらずんば人にあらず」という風潮がありました。が、今年は地方出身の首相の下、地方の活性化に努力されることを強く信じ、あつと言う間に過ぎて行くこの一年を健康で過ごし、世の為人の為になる生活をしたいです。

最後に、皆様のご健康とご多幸を祈念し新年の抱負とさせていただきます。